

## 2026年度（令和8年度）歯学生共用試験 OSCE 学修受験ガイド

### ① 概要

2026年度歯学生共用試験 OSCE は、歯学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版)の内容に準拠して行われます。学生が臨床実習において必要とされる臨床能力を「歯学生診療参加型臨床実習に必要とされる技能と態度についての学修・評価項目（第3版）（以下、学修・評価項目）」としてまとめてありますので、学修の参考にしてください（機構ホームページ参照）。また、歯学系 OSCE の概説動画が機構ホームページに提供されていますので、こちらも参考にしてください。

歯学生共用試験 OSCE では、①コミュニケーション、②医療安全、③感染対策、④基本的診察・検査・臨床技能の4つの能力の到達度が学修・評価項目に基づき出題される6課題で評価されます。

III. 基本的診察法 1. 医療面接 3) 初診患者の医療面接の1課題

III. 基本的診察法 3. 歯科治療に必要な診察と検査 4) 口腔内状態の記録の1課題

IV. 基本的臨床技能

1. 共通事項から 3)手指消毒（(1)衛生的手洗い・(2)アルコール擦式消毒）と手袋の装着、8) ラバーダム防湿、11)）研究用模型の製作（概形印象採得）の3課題から1課題  
3. 歯と歯周組織の疾患の治療から、5) 齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置（1) 齲蝕罹患歯質の除去、および(2)コンポジットレジン修復（単純窩洞）の2課題から1課題

4. 歯質と歯の欠損の治療から、6) 固定性補綴装置（クラウンブリッジ）の基本的操作（1)支台歯形成、および11) 可撤性補綴装置（欠損補綴処置）の基本的操作（2)補綴前処置（レストシートの形成）の2課題から1課題

5. 小手術・口腔粘膜疾患の治療から、4)単純抜歯（滅菌手袋の装着と廃棄を含む）の1課題

なお、これらの課題の実施に当たり、学修・評価項目のⅡ. 共通の学習・評価項目についても学修しておいてください。

### 課題構成

- 基本的診察法
  - 基本的診察法
  - 基本的臨床技能
  - 基本的臨床技能
  - 基本的臨床技能
  - 基本的臨床技能
1. 医療面接
  3. 歯科治療に必要な診察と検査
  1. 共通事項
  3. 歯と歯周組織の疾患の治療
  4. 歯質と歯の欠損の治療
  5. 小手術・口腔粘膜疾患の治療

### 実施例

試験室 1.	基本的診察法	医療面接（5分）
試験室 2.	基本的診察法	歯科治療に必要な診察と検査（5分）
試験室 3.	基本的臨床技能	共通事項（5分）
試験室 4.	基本的臨床技能	歯と歯周組織の疾患の治療（5分）
試験室 5.	基本的臨床技能	歯質と歯の欠損の治療（5分）
試験室 6.	基本的臨床技能	小手術・口腔粘膜疾患の治療（5分）

実施大学により、課題配置（順序）が異なることがあります。

② 共用試験受験にあたっての注意事項

- 医師・歯科医師としての資格がない学生が患者さんの協力を得て臨床実習に参加するためには、事前に学生の能力や適性を評価することが求められています。態度・技能・知識を含む学生の能力や適性が、各大学で実施される共用試験によって公平かつ厳正に評価されることを社会は厳しくみています。したがって、共用試験では、不正行為は許されません。共用試験の公平性を妨害する可能性がある行為、OSCE 課題の漏洩等はしないでください。
- 受験者は、多機能付き腕時計、通信や記録・再生機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、携帯情報端末、カメラなど）を試験会場へ持ち込むことは禁止されています。禁止行為が発覚した場合は不正行為とみなされます。
- 不正行為、課題漏洩、重要資料の紛失、秘匿事項の外部への情報提供等、遵守事項違反事案が生じた場合は、当該大学の OSCE を機構が実施する正式な試験として認めず、大学名の公表、学生にあっては受験資格の取り消し等の対応が検討されることになります。
- 受験者は試験結果に対して異議申立てをすることができます。申立ては受験者が試験結果受領後、大学が指定する期日までに担当者に文書（書式任意）にて申請します。異議申し立ての担当部署、担当窓口等、担当者ならびに提出期日は大学から事前に通知があります。
- 障がいや OSCE で使用する物品・薬品等にアレルギーを有する学生は実施前に申し出て下さい。担当部署、担当窓口等ならびに担当者は大学から事前に通知があります。

○ 課題に関する共通事項

1) 服装、身だしなみについて

服装、身だしなみはすべての課題で評価されます。所属する大学で定められた臨床実習時の服装、身だしなみに従って受験してください。

2) 課題について

- ① 第 1 課題開始前に全 6 課題が記載された受験票が渡されます。
- ② 試験時間は 5 分間です。
- ③ 課題文を読む時間は、試験時間とは別に 1 分間用意されています。
- ④ 課題文は試験中でも読み直しができます。

3) 課題実施中の留意事項

- ① 試験室間の移動、課題の開始、終了等については全体進行の指示に従ってください。
- ② 移動中に不明な点がある場合は、誘導係に指示を求めてください。
- ③ 課題実施中に器具の落下、破損等、課題実施の続行に支障が生じた場合は、評価者に指示を求めてください。

## 歯学生共用試験 OSCE 課題一覧（学修・評価項目第3版の分類による）

### III. 基本的診察法 1. 医療面接

#### 3) 初診患者の医療面接

### III. 基本的診察法 3. 歯科治療に必要な診察と検査

#### 4) 口腔内状態の記録

### IV. 基本的臨床技能

#### 1. 共通事項

##### 3) 手指消毒（衛生的手洗い・擦式消毒）と手袋の装着

##### 8) ラバーダム防湿

##### 11) 概形印象採得

#### 3. 歯と歯周組織の疾患の治療

##### 5) - (1) 齲蝕罹患歯質の除去

##### 5) - (2) コンポジットレジン修復（単純窩洞）

#### 4. 歯質と歯の欠損の治療

##### 6) - (1) 支台歯形成

##### 11) - (2) 補綴前処置（レストシートの形成）

#### 5. 小手術・口腔粘膜疾患の治療

##### 4) 単純抜歯（滅菌手袋の装着と廃棄を含む）

なお、これらの課題の実施にあたり、学修・評価項目のII. 共通の学習・評価項目についても学修しておいてください。

（第24版 共用試験ガイドブックを参照してください）

※ 各課題名をクリックすると、「歯学生診療参加型臨床実習に必要とされる技能と態度についての学修・評価項目（第3版）」の該当ページにリンクします。

○ OSCE で使用する略称について

III. 基本的診察法 3. 歯科治療に必要な診察と検査 4) 口腔内状態の記録で使用する略称について別表に示します。OSCE では略称は記録用紙に記載されますので、略称を暗記する必要はありません。

別表 OSCE で使用する略称

一般名称	略称
健全歯	/
喪失歯（欠損歯・欠如歯）	MT
齲蝕歯	C
くさび状欠損	WSD
コンポジットレジン修復	CR 充
ガラスイオノマーセメント修復	グセ充
象牙質知覚過敏	Hys
咬耗症	Att
酸蝕症	Ero
摩耗症（磨耗症）	Abr
メタルインレー	In または MC
前装金属冠	前装 MC
全部鑄造冠	FMC
硬質レジンジャケット冠	HJK
CAD/CAM 冠	歯 CAD
4/5 冠	4/5Cro
ブリッジ	Br
ポンティック	Pon
全部床義歯	FD
部分床義歯	PD